

令和元年度 帰国留学生・当館ネットワーキング強化会合
山田大使挨拶（２０１９年１２月１０日（火）実施）

みなさん、こんばんは。

本日、日本政府の元留学生からなるＡＢＲＡＥＸのネットワーキングの会、そして、年末の親睦の会にご招待いただき、大変嬉しく思っております。

ＡＢＲＡＥＸは、１９９６年の創立以来、日本大使館及びＪＩＣＡブラジル事務所と協力し、各種セミナー、講演会、留学セミナー、日本文化の普及イベントなど様々な活動を通じて、元留学生・研修生のネットワークの形成・発展に尽力されてきました。日伯の関係の促進に大きく貢献してこられたＡＢＲＡＥＸ及びすべての元留学生・研修生に対して、改めて深い感謝の意を表したいと思います。

安倍総理は、２０１４年にブラジルを訪問した際、日本のラテンアメリカ外交の指針として、３つの「ジュントス」を表明しました。すなわち、「発展を共に」、「主導力を共に」、そして「啓発を共に」です。皆さんは日本での勉強や研修を経験し、日本人の学生や実務家と交流し、友情を深め、様々な分野で、日伯関係の強化に寄与していると思います。これこそ“ジュントス”の理想であります。

来年は、リオからバトンを受け継いで、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。また、日伯外交関係１２５周年であるとともに、在日ブラジル人コミュニティ３０周年と、日本とブラジルがこれまで以上に強い関係を築いていくきっかけになる年と考えており、大使館としても関連したイベントをブラジル政府と協力して実施していく予定です。是非、ＡＢＲＡＥＸの皆さんにおかれても、ますます日伯関係強化のために活躍することを期待します。大使館としてもそうした活動に支援を惜しみません。

今日ご出席の全ての皆さんが今晚のイベントを楽しみ、ネットワークを広げて頂くことを心から願っています。

ありがとうございました。

（了）